

平成 27 年 11 月 4 日

平成 28 年 3 月期 第 2 四半期決算の概要

株式会社川島織物セルコン
京都市左京区静海市原町 265

1. 平成 28 年 3 月期第 2 四半期の個別業績 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

(1) 個別経営成績 (累計)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28 年 3 月期第 2 四半期	13,916	△2.4	346	△2.2	368	△6.6	283	△28.7
27 年 3 月期第 2 四半期	14,262	△4.2	354	10.5	394	18.1	397	40.2

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28 年 3 月期第 2 四半期	23,390		13,113		56.1	
27 年 3 月期	24,149		12,807		53.0	

2. 経営状況について

【全体状況】

当社は、存在感の際立つファブリックメーカーとなることを経営のビジョンに掲げ、事業に取り組みました。

当第2四半期累計期間には、グループ全体の経営資源を統合することにより、経営の効率化を図ることを目的に子会社の川島セルコン物流を4月1日付で吸収合併しました。

商品面では、“プロに選ばれるオーダーカーテン”をコンセプトに、一般家庭からオフィスビルや高級ホテルまで様々なニーズに対応すべく素材感・カラーレンジを大幅に拡充したオーダーカーテンシリーズ「FELTA (フェルタ)」を7月に、“上質”と“本物らしさ(再現性)”にこだわり、ハイグレードな空間を演出できるタイルカーペットとビニル床タイルの新作を8月に発売しました。

当第2四半期累計期間における当社の売上高は、呉服ショップの店舗数を増やしたことなどにより身装・美術工芸事業は売上を伸ばしたものの、事業規模の大きいインテリアファブリック事業の売上高が前年を下回ったことから、前年同期比3億45百万円(2.4%)減収の139億16百万円となりました。

損益については、全社をあげての生産性向上活動や原価低減・経費削減により収益改善に努めましたが、売上高の減少による収益悪化の影響をカバーするには至らず、営業利益は前年同期比7百万円減益の3億46百万円、経常利益は同25百万円減益の3億68百万円、四半期純利益は同1億14百万円減益の2億83百万円となりました。

【事業別状況】

[身装・美術工芸事業]

前年度後半に新規出店した呉服ショップが通年で寄与したことなどから、売上高は前年同期比72百万円(6.2%)増収の12億37百万円となりました。

営業利益については、増収や粗利益率の改善による効果などから、前年同期比32百万円増益の40百万円となりました。

[インテリアファブリック事業]

官公庁、設計・デザイン事務所、ホテル・宿泊施設などのコントラクトマーケットへの販売は堅調に推移したものの、全国主要百貨店への販売を中心としたホームファッション部門が事業の再編を進めた影響から大幅な減収となったことに加え、主力のオーダーカーテンも売上を落としたことなどから、売上高は前年同期比4億22百万円(3.2%)減収の126億75百万円となりました。

営業利益については、原価低減や経費削減に努めたものの、売上高の減少による収益悪化の影響をカバーするには至らず、前年同期比1億1百万円減益の3億5百万円となりました。

以上